

対象		科目区分				授業方法	
2年次		必修課目		美容理論		講義	
科目名		時間数		担当		実務経験	
関係法規・制度		1単位（30時間）		関係法規教員資格取得者		—	
目標	美容業にかかわる法律の内容を理解し、国家試験合格に必要な学力を身につける						
回	授業内容	回	授業内容	回	授業内容	回	授業内容
1	第1章 法制度の概要	11	第3章 美容師法⑧⑨	21	第4章 関連法規②	31	
2	第2章 衛生行政の概要①	12	第3章 中間試験 筆記	22	第4章 関連法規③	32	
3	第2章 衛生行政の概要②	13	第3章 美容師法⑩	23	国家試験筆記対策	33	
4	第3章 美容師法①	14	第3章 美容師法⑪	24	国家試験筆記対策	34	
5	第3章 美容師法②	15	第3章 美容師法⑫	25	国家試験筆記対策	35	
6	第3章 美容師法③	16	第3章 美容師法⑬	26	国家試験筆記対策	36	
7	第3章 美容師法④	17	第3章 美容師法⑭	27	模擬筆記試験	37	
8	第3章 美容師法⑤	18	第3章 美容師法⑮	28	国家試験筆記対策	38	
9	第3章 美容師法⑥	19	第3章 美容師法⑯	29	国家試験筆記対策	39	
10	第3章 美容師法⑦	20	第4章 関連法規①	30	卒業試験 筆記	40	
テキスト・教材など							
テキストは日本理容美容教育センター発行「関係法規・制度」を使用 別途、問題演習プリントを使用							
評価方法							
評価については前期(中間)試験、後期(卒業)試験を実施して理解度を計る。 及第点は100点満点中60点以上とし、及第点に達しないものについては別途追試験を実施する。							

対象		科目区分				授業方法	
2年次		必修課目		美容理論		講義	
科目名		時間数		担当		実務経験	
衛生管理		2単位（60時間）		衛生管理教員資格取得者		—	
目標	国家試験、全員合格に向けて知識の習得						
回	授業内容	回	授業内容	回	授業内容	回	授業内容
1	4編1章1節 消毒	26	5編1章2節 衛生管理要領④	51	国家試験対策 模擬筆記試験② 解説と復習	76	
2	4編1章2節 消毒の意義	27	5編2章 自主管理点検	52	国家試験対策 模擬筆記試験③	77	
3	4編1章3節 ①理美容業務	28	1編 公衆衛生 復習① ワークブック使用	53	国家試験対策 模擬筆記試験③ 解説と復習	78	
4	4編1章3節 ②消毒の関係	29	1編 公衆衛生 復習② ワークブック使用	54	国家試験対策授業① ワークブック使用	79	
5	4編1章4節 ①消毒法	30	1編 公衆衛生 復習③ ワークブック使用	55	国家試験対策授業② ワークブック使用	80	
6	4編1章4節 ②適用上注意	31	1編 公衆衛生 復習④ ワークブック使用	56	国家試験対策授業③ ワークブック使用	81	
7	4編2章1節 理学的消毒法①	32	2編 環境衛生 復習① ワークブック使用	57	国家試験対策授業④ ワークブック使用	82	
8	4編2章1節 理学的消毒法②	33	2編 環境衛生 復習② ワークブック使用	58	国家試験対策授業⑤ ワークブック使用	83	
9	4編2章2節 科学的消毒法①	34	2編 環境衛生 復習③ ワークブック使用	59	国家試験対策授業⑥ ワークブック使用	84	
10	4編2章2節 科学的消毒法②	35	2編 環境衛生 復習④ ワークブック使用	60	卒業試験 筆記	85	
11	4編2章3節 消毒法と実施上の注意	36	3編 感染症 復習① ワークブック使用	61		86	
12	4編3章1節 各種消毒法①	37	3編 感染症 復習② ワークブック使用	62		87	
13	4編3章1節 各種消毒法②	38	3編 感染症 復習③ ワークブック使用	63		88	
14	4編3章2節 消毒の実際①	39	3編 感染症 復習④ ワークブック使用	64		89	
15	4編3章2節 消毒の実際②	40	4編 衛生管理技術 復習① ワークブック使用	65		90	
16	4編3章3節 清潔法の実際①	41	4編 衛生管理技術 復習② ワークブック使用	66		91	
17	4編3章3節 清潔法の実際②	42	4編 衛生管理技術 復習③ ワークブック使用	67		92	
18	中間試験 筆記	43	4編 衛生管理技術 復習④ ワークブック使用	68		93	
19	5編1章1節 衛生管理要領①	44	5編 衛生管理実践例 復習① ワークブック使用	69		94	
20	5編1章1節 衛生管理要領②	45	5編 衛生管理実践例 復習② ワークブック使用	70		95	
21	5編1章1節 衛生管理要領③	46	5編 衛生管理実践例 復習③ ワークブック使用	71		96	
22	5編1章1節 衛生管理要領④	47	5編 衛生管理実践例 復習④ ワークブック使用	72		97	
23	5編1章2節 衛生管理要領①	48	国家試験対策 模擬筆記試験①	73		98	
24	5編1章2節 衛生管理要領②	49	国家試験対策 模擬筆記試験① 解説と復習	74		99	
25	5編1章2節 衛生管理要領③	50	国家試験対策 模擬筆記試験②	75		100	
テキスト・教材など							
テキストは日本理容美容教育センター発行「衛生管理」を使用 サブテキストとして同センター発行「ワークブック」を使用する							
評価方法							
評価については前期(中間)試験、後期(卒業)試験を実施して理解度を計る。 及第点は100点満点中60点以上とし、及第点に達しないものについては別途追試験を実施する。							

対象		科目区分				授業方法	
2年次		必修科目		美容理論		講義	
科目名		時間数		担当		実務経験	
保健		1単位（30時間）		保健教員資格取得者		—	
目標	1年次の皮膚についての学びに加えて人体各部の構造への理解を深め、来る国家試験に備える。						
回	授業内容	回	授業内容	回	授業内容	回	授業内容
1	第1章 頭部、顔部、頸部の体表解剖学	11	第7章 呼吸器系①	21	国家試験対策 模擬筆記試験①	31	
2	第2章 骨角器系	12	第7章 呼吸器系②	22	模擬試験①解説と復習	32	
3	第3章 筋系	13	第7章 呼吸器系③	23	国家試験対策 模擬筆記試験②	33	
4	第4章 神経系①	14	第8章 消化器系①	24	模擬試験②解説と復習	34	
5	第4章 神経系②	15	第8章 消化器系②	25	国家試験対策 模擬筆記試験③	35	
6	第5章 感覚器系	16	第8章 消化器系③	26	模擬試験③解説と復習	36	
7	中間試験 筆記	17	国家試験対策授業 ワークブック使用	27	国家試験対策授業 ワークブック使用	37	
8	第6章 循環器系①	18	国家試験対策授業 ワークブック使用	28	国家試験対策授業 ワークブック使用	38	
9	第6章 循環器系②	19	国家試験対策授業 ワークブック使用	29	国家試験対策授業 ワークブック使用	39	
10	第6章 循環器系③	20	国家試験対策授業 ワークブック使用	30	卒業試験 筆記	40	
テキスト・教材など							
テキストは日本理容美容教育センター発行「保健」を使用 サブテキストとして同センター発行「ワークブック」を使用する							
評価方法							
評価については前期(中間)試験、後期(卒業)試験を実施して理解度を計る。 及第点は100点満点中60点以上とし、及第点に達しないものについては別途追試験を実施する。							

対象		科目区分				授業方法	
2年次		必修科目		美容理論		講義	
科目名		時間数		担当		実務経験	
化粧品化学		1単位（30時間）		化粧品化学教員資格取得者		—	
目標	化粧品化の基本原理について理解とその応用力とが美容師にとって重要な意義を持つことを理解させる						
回	授業内容	回	授業内容	回	授業内容	回	授業内容
1	4章 メイクアップ用化粧品 1節	11	5章 頭皮・毛髪用化粧品 3節	21	6章 芳香製品と特殊化粧品 1節	31	
2	4章 メイクアップ用化粧品 2節	12	5章 頭皮・毛髪用化粧品 3節	22	6章 芳香製品と特殊化粧品 1節	32	
3	4章 メイクアップ用化粧品 2節	13	5章 頭皮・毛髪用化粧品 3節	23	付録 化粧品化学を理解するための基礎-1	33	
4	4章 メイクアップ用化粧品 3節	14	5章 頭皮・毛髪用化粧品 4節	24	付録 化粧品化学を理解するための基礎-2	34	
5	4章 メイクアップ用化粧品 3節	15	5章 頭皮・毛髪用化粧品 4節	25	付録 化粧品化学を理解するための基礎-3	35	
6	5章 頭皮・毛髪用化粧品 1節	16	5章 頭皮・毛髪用化粧品 4節	26	付録 化粧品化学を理解するための基礎-4	36	
7	中間試験 筆記	17	5章 頭皮・毛髪用化粧品 4節	27	付録 化粧品化学を理解するための基礎-5	37	
8	5章 頭皮・毛髪用化粧品 1節	18	5章 頭皮・毛髪用化粧品 5節	28	付録 化粧品化学を理解するための基礎-6	38	
9	5章 頭皮・毛髪用化粧品 2節	19	5章 頭皮・毛髪用化粧品 5節	29	付録 化粧品化学を理解するための基礎-7	39	
10	5章 頭皮・毛髪用化粧品 2節	20	5章 頭皮・毛髪用化粧品 5節	30	卒業試験 筆記	40	
テキスト・教材など							
テキストは日本理容美容教育センター発行「化粧品化学」を使用 サブテキストとして同センター発行「ワークブック」を使用する							
評価方法							
評価については前期(中間)試験、後期(卒業)試験を実施して理解度を計る。 及第点は100点満点中60点以上とし、及第点に達しないものについては別途追試験を実施する。							

対象		科目区分				授業方法	
2年次		必修課目		美容理論		講義	
科目名		時間数		担当		実務経験	
美容技術理論		3単位（90時間）		技術理論教員資格取得者		美容師として美容室勤務	
目標	美容用具、用具類、技術についての知識を深め、美容師になるための基礎知識を備える						
回	授業内容	回	授業内容	回	授業内容	回	授業内容
1	9章 ネイル技術-1	26	11章 日本髪-5	51	総合的復習-1	76	卒業試験対策-4
2	9章 ネイル技術-2	27	11章 日本髪-6	52	総合的復習-2	77	卒業試験対策-4
3	9章 ネイル技術-3	28	11章 日本髪-7	53	総合的復習-2	78	卒業試験対策-4
4	9章 ネイル技術-4	29	11章 日本髪-8・9	54	総合的復習-2	79	卒業試験対策-5
5	9章 ネイル技術-5	30	中間試験 筆記	55	総合的復習-3	80	卒業試験対策-5
6	9章 ネイル技術-6	31	12章 着付の理論と技術-1	56	総合的復習-3	81	卒業試験対策-5
7	9章 ネイル技術-7	32	12章 着付の理論と技術-2	57	総合的復習-3	82	卒業試験対策-6
8	9章 ネイル技術-8	33	12章 着付の理論と技術-3	58	総合的復習-4	83	卒業試験対策-6
9	9章 ネイル技術-9	34	12章 着付の理論と技術-4	59	総合的復習-4	84	卒業試験対策-6
10	10章 メイクアップ-1	35	12章 着付の理論と技術-5	60	総合的復習-4	85	卒業試験対策-7
11	10章 メイクアップ-2	36	12章 着付の理論と技術-6	61	総合的復習-5	86	卒業試験対策-7
12	10章 メイクアップ-3	37	12章 着付の理論と技術-7	62	総合的復習-5	87	卒業試験対策-7
13	10章 メイクアップ-4	38	12章 着付の理論と技術-8	63	総合的復習-5	88	卒業試験対策
14	10章 メイクアップ-5	39	12章 着付の理論と技術-9	64	総合的復習-6	89	卒業試験対策
15	10章 メイクアップ-6	40	12章 着付の理論と技術-10	65	総合的復習-6	90	卒業試験 筆記
16	10章 メイクアップ-7	41	12章 着付の理論と技術-11	66	総合的復習-6	91	
17	10章 メイクアップ-8	42	12章 着付の理論と技術-12	67	卒業試験対策-1	92	
18	10章 メイクアップ-9	43	12章 着付の理論と技術-13	68	卒業試験対策-1	93	
19	10章 メイクアップ-10	44	12章 着付の理論と技術-14	69	卒業試験対策-1	94	
20	10章 メイクアップ-11	45	12章 着付の理論と技術-15	70	卒業試験対策-2	95	
21	10章 メイクアップ-12	46	12章 着付の理論と技術-16	71	卒業試験対策-2	96	
22	11章 日本髪-1	47	12章 着付の理論と技術-17	72	卒業試験対策-2	97	
23	11章 日本髪-2	48	12章 着付の理論と技術-18	73	卒業試験対策-3	98	
24	11章 日本髪-3	49	総合的復習-1	74	卒業試験対策-3	99	
25	11章 日本髪-4	50	総合的復習-1	75	卒業試験対策-3	100	
テキスト・教材など							
テキストは日本理容美容教育センター発行「技術理論」を使用 サブテキストとして同センター発行「ワークブック」を使用する							
評価方法							
評価については前期(中間)試験、後期(卒業)試験を実施して理解度を計る。 及第点は100点満点中60点以上とし、及第点に達しないものについては別途追試験を実施する。							

対象		科目区分				授業方法	
2年次		必修課目		美容理論		講義	
科目名		時間数		担当		実務経験	
文化論		15時間／60時間 文化論 2単位(60時間)		文化論教員資格取得者		—	
目 標	人間美の創造、実現が美容師にとって重要であり、更に美的感覚と美容の歴史を学ぶ。						
回	授業内容	回	授業内容	回	授業内容	回	授業内容
1	近世Ⅰ・Ⅱ	11	近世Ⅰ～現代Ⅷ復習	21		31	
2	復習	12	試験対策プリント①	22		32	
3	近世Ⅲ・近代Ⅰ・Ⅱ	13	試験対策プリント②	23		33	
4	復習	14	試験対策プリント③	24		34	
5	現代Ⅰ・Ⅱ	15	卒業試験 筆記	25		35	
6	総復習・試験対策	16		26		36	
7	中間試験 筆記	17		27		37	
8	現代Ⅲ・Ⅳ	18		28		38	
9	復習	19		29		39	
10	現代Ⅴ～Ⅷ	20		30		40	
テキスト・教材など							
テキストは日本理容美容教育センター発行「文化論」を使用 サブテキストとして同センター発行「ワークブック」を使用する							
評価方法							
評価については前期(中間)試験、後期(卒業)試験を実施して理解度を計る。 及第点は100点満点中60点以上とし、及第点に達しないものについては別途追試験を実施する。							

対象		科目区分				授業方法	
2年次		必修課目		美容理論		講義	
科目名		時間数		担当		実務経験	
運営管理		12時間/30時間 運営管理 1単位(30時間)		運営管理教員資格取得者		—	
目標	美容室の経営や労務管理に基本を理解する						
回	授業内容	回	授業内容	回	授業内容	回	授業内容
1	第2編 第1章 第2節 人の能力を高める	11	総復習 教科書全般	21		31	
2	第2編 第2章 健康・安全な職場環境の実現	12	卒業試験 筆記	22		32	
3	第2編 第3章 従業員としての視点から	13		23		33	
4	第3編 第1章 サービス・デザイン	14		24		34	
5	第3編 第2章 マーケティング	15		25		35	
6	第3編 第3章 サービスにおける人の役割	16		26		36	
7	中間試験 筆記	17		27		37	
8	第1編 p11～p41 国家試験対策 ワークブック	18		28		38	
9	第2編 p44～80 国家試験対策 ワークブック	19		29		39	
10	第3編 p83～131 国家試験対策 ワークブック	20		30		40	
テキスト・教材など							
テキストは日本理容美容教育センター発行「運営管理」を使用 サブテキストとして同センター発行「ワークブック」を使用する							
評価方法							
評価については前期(中間)試験、後期(卒業)試験を実施して理解度を計る。 及第点は100点満点中60点以上とし、及第点に達しないものについては別途追試験を実施する。							

対象		科目区分				授業方法	
2年次		必修課目		美容実習		実習	
科目名		時間数		担当		実務経験	
カッティング		60時間／600時間 美容実習 20単位(600時間)		担任・副担任		美容師として美容室勤務	
目標	国家試験課題であるレイヤーカットの構造や手順を習得し、規定時間(20分間)で国家試験合格レベルに到達する。						
回	授業内容	回	授業内容	回	授業内容	回	授業内容
1	初期指導 レイヤーカットの構造と理論-	11	タイム取り 目標45分	21		31	
2	実践 ブロッキング	12	タイム取り 目標38分	22		32	
3	実践 カット ガイドラインづくり	13	タイム取り 目標33分	23		33	
4	実践 カット ヘムライン～バックパート	14	タイム取り 目標30分	24		34	
5	実践 カット バックパート1ブロック	15	タイム取り 目標25分	25		35	
6	実践 カット バックパート2ブロック	16	タイム取り 目標20分	26		36	
7	実践 カット サイド～フロント	17	模擬試験-① 20分で合格レベルに	27		37	
8	実践 カット チェックカット	18	模擬試験-② 20分で合格レベルに	28		38	
9	反復練習-1	19	模擬試験-③ 20分で合格レベルに	29		39	
10	反復練習-2	20	卒業試験実技	30		40	
テキスト・教材など							
理容師美容師教育センター発行 美容師実技試験課題「技術の解説」ならびに「理・美容衛生読本」に基づいて指導を行う。							
評価方法							
後期(卒業)試験を実施して理解度を計る。試験は100点満点中、60点を及第点として満たない場合は追試験を行う。							

対象		科目区分				授業方法	
2年次		必修課目		美容実習		実習	
科目名		時間数		担当		実務経験	
ワインディング		195時間／600時間 美容実習 20単位(600時間)		担任・副担任		美容師として美容室勤務	
目標	国家試験課題であるワインディングの構成を理解し、規定時間(20分間)内での国家試験合格レベル到達を目標とする。						
回	授業内容	回	授業内容	回	授業内容	回	授業内容
1	国家試験に向けて 作品の解説 ※国家試験に合格レベルの 作品とは?	26	国家試験に向けて 作品づくりの実践-11 ※タイム追いと評価	51	卒業試験実技	76	
2		27		52	国家試験対策 タイム取り&評価	77	
3	国家試験に向けて 作品づくりの実践-1 ※作品構成の再確認	28	反復練習	53	国家試験対策 タイム取り&評価	78	
4		29	反復練習	54	模擬試験-① 20分で合格レベルに	79	
5	国家試験に向けて 作品づくりの実践-2 ※自分のクセを理解する	30	反復練習	55	国家試験対策 タイム取り&評価	80	
6		31	国家試験に向けて 作品づくりの実践-12	56	模擬試験-② 20分で合格レベルに	81	
7	国家試験に向けて 作品づくりの実践-3 ※作品づくりと姿勢	32		57	国家試験対策 タイム取り&評価	82	
8		33	国家試験に向けて 作品づくりの実践-13	58	模擬試験-③ 20分で合格レベルに	83	
9	国家試験に向けて 作品づくりの実践-4 ※仕上がり作品の修正	34		59	国家試験対策 タイム取り&評価	84	
10		35	国家試験に向けて 作品づくりの実践-14	60	模擬試験-④ 20分で合格レベルに	85	
11	国家試験に向けて 作品づくりの実践-5 ※仕上がり作品の修正	36		61	国家試験対策 タイム取り&評価	86	
12		37	国家試験に向けて 作品づくりの実践-15	62	模擬試験-⑤ 20分で合格レベルに	87	
13	反復練習	38		63	国家試験対策 タイム取り&評価	88	
14	反復練習	39	反復練習	64	模擬試験-⑥ 20分で合格レベルに	89	
15	小テスト	40	反復練習	65	模擬試験-⑦ 20分で合格レベルに	90	
16	国家試験に向けて 作品づくりの実践-6 ※タイム追いと評価	41	反復練習	66		91	
17		42	反復練習	67		92	
18	国家試験に向けて 作品づくりの実践-7 ※タイム追いと評価	43	国家試験に向けて 作品づくりの実践-16	68		93	
19		44		69		94	
20	国家試験に向けて 作品づくりの実践-8 ※タイム追いと評価	45	国家試験に向けて 作品づくりの実践-17	70		95	
21		46		71		96	
22	国家試験に向けて 作品づくりの実践-9 ※タイム追いと評価	47	国家試験に向けて 作品づくりの実践-18	72		97	
23		48		73		98	
24	国家試験に向けて 作品づくりの実践-10 ※タイム追いと評価	49	国家試験に向けて 作品づくりの実践-19	74		99	
25		50		75		100	
テキスト・教材など							
理容師美容師教育センター発行 美容師実技試験課題「技術の解説」ならびに「理・美容衛生読本」に基づいて指導を行う。							
評価方法							
定期試験を実施して理解度を計る。試験は100点満点中、60点を及第点として満たない場合は追試験を行う。							

対象		科目区分				授業方法	
2年次		必修課目		美容実習		実習	
科目名		時間数		担当		実務経験	
オールウェーブセッティング		195時間／600時間 美容実習 20単位 (600時間)		担任・副担任		美容師として美容室勤務	
目標	国家試験課題であるオールウェーブセッティングの構造や手順を習得し、規定時間(25分間)内の合格レベル到達を目標とする。						
回	授業内容	回	授業内容	回	授業内容	回	授業内容
1	国家試験に向けて 作品の解説	26	初期指導-24 クロッキノールカール	51	卒業試験実技	76	
2	※国家試験に合格レベルの 作品とは?	27	初期指導-25 クロッキノールカール	52	国家試験対策 タイム取り&評価	77	
3	初期指導-1 ローションの塗布と取扱い	28	初期指導-26 メイポールカール	53	国家試験対策 タイム取り&評価	78	
4	初期指導-2 ローションの塗布と取扱い	29	初期指導-27 メイポールカール	54	国家試験対策 タイム取り&評価	79	
5	初期指導-3 コームの使用法	30	初期指導-28 メイポールカール	55	模擬試験-① 20分で合格レベルに	80	
6	初期指導-4 全体のバランスと構成指導	31	国家試験に向けて 作品づくりの実践-1 ※タイム内完成と修正	56	国家試験対策 タイム取り&評価	81	
7	初期指導-5 全体のバランスと構成指導	32		57	模擬試験-② 20分で合格レベルに	82	
8	初期指導-6 全体のバランスと構成指導	33	国家試験に向けて 作品づくりの実践-2 ※タイム内完成と修正	58	国家試験対策 タイム取り&評価	83	
9	初期指導-7 フィンガーウェーブ	34		59	模擬試験-③ 20分で合格レベルに	84	
10	初期指導-8 フィンガーウェーブ	35	国家試験に向けて 作品づくりの実践-3 ※タイム内完成と修正	60	国家試験対策 タイム取り&評価	85	
11	初期指導-9 フィンガーウェーブ	36		61	模擬試験-④ 20分で合格レベルに	86	
12	初期指導-10 フィンガーウェーブ	37	国家試験に向けて 作品づくりの実践-4 ※タイム内完成と修正	62	国家試験対策 タイム取り&評価	87	
13	初期指導-11 フィンガーウェーブ	38		63	模擬試験-⑤ 20分で合格レベルに	88	
14	初期指導-12 フィンガーウェーブ	39	反復練習	64	国家試験対策 タイム取り&評価	89	
15	初期指導-13 フィンガーウェーブ	40	反復練習	65	模擬試験-⑥ 20分で合格レベルに	90	
16	初期指導-14 スカルプチュアカール	41	反復練習	66		91	
17	初期指導-15 スカルプチュアカール	42	反復練習	67		92	
18	初期指導-16 スカルプチュアカール	43	国家試験に向けて 作品づくりの実践-5 ※タイム内完成と修正	68		93	
19	初期指導-17 スカルプチュアカール	44		69		94	
20	初期指導-18 リフトカールカール	45	国家試験に向けて 作品づくりの実践-6 ※タイム内完成と修正	70		95	
21	初期指導-19 リフトカールカール	46		71		96	
22	初期指導-20 リフトカールカール	47	国家試験に向けて 作品づくりの実践-7 ※タイム内完成と修正	72		97	
23	初期指導-21 リフトカールカール	48		73		98	
24	初期指導-22 クロッキノールカール	49	国家試験に向けて 作品づくりの実践-8 ※タイム内完成と修正	74		99	
25	初期指導-23 クロッキノールカール	50		75		100	
テキスト・教材など							
理容師美容師教育センター発行 美容師実技試験課題「技術の解説」ならびに「理・美容衛生読本」に基づいて指導を行う。							
評価方法							
定期試験を実施して理解度を計る。試験は100点満点中、60点を及第点として満たない場合は追試験を行う。							

対象		科目区分				授業方法	
2年次		必修課目		美容実習		実習	
科目名		時間数		担当		実務経験	
国家試験対策		150時間／600時間 美容実習 20単位 (600時間)		担任・副担任		美容師として美容室勤務	
目標	国家試験課題であるレイヤーカットの構造や手順を習得し、規定時間（20分間）						
回	授業内容	回	授業内容	回	授業内容	回	授業内容
1	衛生上の取り扱い-1 器具のセッティングや用具 の出し入れについての解 説。	16	国家試験2課題 実践-3	31	模擬国家試験-1	46	国家試験2課題の反復練習
2		17	国家試験2課題 実践-4	32	国家試験2課題の反復練習	47	国家試験2課題の反復練習
3		18		33	国家試験2課題の反復練習	48	模擬国家試験-3
4	衛生上の取り扱い-2 器具のセッティングや用具 の出し入れの実践シミュ レーション。	19	国家試験2課題 実践-5	34	国家試験2課題の反復練習	49	国家試験本番リハーサル
5		20		35	国家試験2課題の反復練習	50	国家試験本番リハーサル
6		21	国家試験2課題 実践-6	36	国家試験2課題の反復練習	51	
7	22	37		模擬国家試験-2	52		
8	国家試験2課題 実践-1 ※国家試験と同タイムで作 品づくりと評価	23	国家試験2課題 実践-7	38	国家試験2課題の反復練習	53	
9	国家試験2課題 実践-2	24		39	国家試験2課題の反復練習	54	
10		25	国家試験2課題 実践-8	40	国家試験2課題の反復練習	55	
11	26	41		国家試験2課題の反復練習	56		
12	国家試験2課題 実践-2	27	国家試験2課題 実践-9	42	国家試験2課題の反復練習	57	
13		28		43	国家試験2課題の反復練習	58	
14	29	国家試験2課題 実践-10	44	模擬国家試験-3	59		
15	30		45	国家試験2課題の反復練習	60		
テキスト・教材など							
理容師美容師教育センター発行 美容師実技試験課題「技術の解説」ならびに「理・美容衛生読本」に基づいて指導を行う。							
評価方法							
模擬試験によって技術レベルと衛生についての知識を確認する。							

対象		科目区分				授業方法	
2年次		選択必修科目		一般教養 I		講義	
科目名		時間数		担当		実務経験	
接遇マナー		15時間／60時間 一般教養 I 2単位 (60時間)		サービス接遇講師		—	
目 標	1年次に学んだマナー授業を基礎として、就職活動に生きる知識と技術を身に着ける。						
回	授業内容	回	授業内容	回	授業内容	回	授業内容
1	・就活の考え方/取組み方 ・入室	11		21		31	
2	・面接/入室/答え方/ 過去問	12		22		32	
3	・集団面接/練習 ・電話 ・接客 ・まとめ	13		23		33	
4	就職試験対策講座 自分を表現する-1	14		24		34	
5	就職模試/模擬面接	15		25		35	
6		16		26		36	
7		17		27		37	
8		18		28		38	
9		19		29		39	
10		20		30		40	
テキスト・教材など							
テキスト・筆記用具							
評価方法							
授業態度/出欠状況/技術チェック							

対象		科目区分				授業方法	
2年次		選択課目		選択コース		実習	
科目名		時間数		担当		実務経験	
カットⅡ		2単位（60時間）		担任・副担任		美容師として美容室勤務	
目標	1年次に学習したカットⅠ・Ⅱの基礎を活かした応用技術を身に付け、より高度なデザインカット技術を身に付ける。						
回	授業内容	回	授業内容	回	授業内容	回	授業内容
1	平行ワンレングス P50 台座下6cm ウィッグ①	11	ロングレイヤー P94 ネーブ：台座下10cm ゴールデンポイント：盆のくぼ ウィッグ③	21		31	
2	平行ワンレングス 台座下4cm ウィッグ①	12	ミディアムレイヤー P98 ネーブ：台座下5cm ゴールデンポイント：盆のくぼ ウィッグ③	22		32	
3	前上がりワンレングス P54 ネーブ：台座下2cm もみあげ：台座上2cm ウィッグ①	13	ミディアムレイヤー ネーブ：台座 ゴールデンポイント：盆のくぼ ウィッグ③	23		33	
4	前上がりワンレングス ネーブ：台座 もみあげ：台座上4cm ウィッグ①	14	ショートレイヤー ネーブ：台座上5cm ゴールデンポイント：盆のくぼ ウィッグ③	24		34	
5	サイドグラデーション P70 もみあげ：生え際から8cm ウィッグ①	15	平行ワンレングス P50 台座下6cm ウィッグ④	25		35	
6	サイドグラデーション もみあげ：生え際から6cm ウィッグ①	16	平行ワンレングス 台座下 ウィッグ④	26		36	
7	前下がりワンレングス P56 バックセンター：台座 もみあげ：台座下4cm ウィッグ②	17	グラデーションボブ P80 バックセンター：台座上4cm ウィッグ④	27		37	
8	前下がりワンレングス バックセンター：台座上2cm もみあげ：台座下2cm ウィッグ②	18	グラデーションボブ バックセンター：台座上6cm ウィッグ④	28		38	
9	グラデーションボブ P80 バックセンター：台座上4cm ウィッグ②	19	平行ワンレングス（チェック） 台座下4cm ウィッグ⑤	29		39	
10	グラデーションボブ バックセンター：台座上6cm ウィッグ②	20	ミディアムレイヤー（チェック） ネーブ：台座 ゴールデンポイント：盆のくぼ ウィッグ⑤	30		40	
テキスト・教材など							
テキスト、カットウィッグ、カット道具一式							
評価方法							
授業態度/出欠状況/技術チェック							

対象		科目区分				授業方法	
2年次		選択課目		選択コース		実習	
科目名		時間数		担当		実務経験	
メイクⅡ		2単位（60時間）		メイク指導認定講師		美容師として美容室勤務	
目標	1年次に学習したメイクⅠ・Ⅱを基礎とし、応用編であるメイク技術、ブライダルメイク、ステージメイクなどを習得する。						
回	授業内容	回	授業内容	回	授業内容	回	授業内容
1	①ベーシックメイク ブラシの使い方	11	洋装ブライダル ヘアメイク・デザイン画作り	21		31	
2	①パーソナルメイク	12	洋装ブライダル 3人でペアとなりヘアメイク →写真撮影	22		32	
3	②パーソナルメイク	13	洋装ブライダル 3人でペアとなりヘアメイク →写真撮影	23		33	
4	①目元アートデザインメイク	14	和装ブライダル デモ・実践	24		34	
5	②目元アートデザインメイク	15	和装ブライダル 作品作り	25		35	
6	スチールメイク(カラー)	16	①ハロウィンメイク	26		36	
7	スチールメイク(モノクロ)	17	②ハロウィンメイク	27		37	
8	カウンセリングメイク (SBS P86~97) テキストを使いカウンセリング方法を知る。悩みに合わせたメイクの実践と提案) プレゼン	18	卒業制作 練習	28		38	
9	カウンセリングメイク お客様と技術者に分かれて カウンセリングメイク	19	卒業制作 練習	29		39	
10	お客様の設定 クレーマー、お急ぎ、聞き たがりなどをして技術者が 対応	20	卒業制作 発表、撮影	30		40	
テキスト・教材など							
テキスト、メイクⅡ道具一式							
評価方法							
授業態度、出欠状況、技術チェック							